第500回:パチパチ、新記録樹立の江沢民

2月18 日の共同通信記事を読むまで気づかなかった。と云っても上海総合指数や深圳成分指数が大きく変動するような大ニュースではなくて、中国現代史のつまらぬトリヴィアですが。

1926年8月17日生まれの江沢民・元国家主席(92)が、この2月15日に出生日から33,785日を迎え、「1949年の共産党政権誕生以降、最高指導者のなかで最長寿を全うした故鄧小平氏を超え、歴代で最も長生きになった」と中国で話題になっている。

江沢民が生まれた1926年の日本は大正最期の年で、12月25日までが大正15年、その日から昭和元年が始まっている。エリザベス2世や故マリリン・モンローと同い年と聞けば、欧米好きの江氏は喜ぶだろうが、女王陛下はどうだろう?

ご参考までに歴代最高指導者の状況は以下のとおり。 年齢の赤は"享年"、黒は現年齢

氏名	年齢	生年—没年	在任期間	党トップ辞任後の状況
毛沢東	82	1893-1976	1949-76	在任中に逝去
華国鋒	87	1921-2008	1976-81	81年に実質失脚するも、02年まで党中央委員
胡耀邦	73	1915—1989	1981-87	政治局委員に降格、2年後に逝去
趙紫陽	85	1919-2005	1987—89	天安門事件で失脚、16年間の軟禁中に逝去
江沢民	92	1926—	1989-2002	04年まで軍事委員会主席
胡錦涛	76	1942—	2002-2012	辞任と同時に引退生活へ
習近平	65	1953—	2012—	
鄧小平	92	1904-1997	1983-89	1981年—89年まで党軍事委員会主席

毛沢東から習近平までの7名は、歴代の中国最高指導者(=党中央主席ないしは総書記)であり、鄧小平 だけが1980年代の中国に君臨した実質最高指導者である。

新中国の歴代指導者といえばこの8名のみ。周恩来(元首相)は偉大な指導者だったが、毛沢東の助手に留まり、全盛期の劉少奇(元国家主席)も、ポスト毛の最有力者であったに過ぎない。

そんなわけで、江氏の長寿記録樹立は、春節の時期とも重なり、慶賀に堪えないが、本件に関するネット 上の書き込みは、いま相次いで削除されているらしい。なぜ削除されるのか?

習近平主席が本腰を入れて推進する腐敗撲滅キャンペーンで、これまでに周永康、薄熙来、郭伯雄など 江沢民が現役時代に重用した大物政治家が陸続と身柄を拘束されており、同氏が指導部にとって、"敵に 近い存在"であるのは間違いない。だから、「そんな野郎の長寿なんて祝えるか」という声はごもっともだが、 別の理由もありそうだ。

中国メディアによると、2017年の中国人の平均寿命は76.7歳。決して短命国ではないが、庶民の間では、地域間や所得層による医療格差への不満が根強く、「最高指導者だけが長寿を全うしている」と云う現実を当局が気にして、ネット情報を遮断した可能性があるという。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。



ご参考まで、歴代最高指導者のなかで、胡耀邦一人だけが、73歳で逝去しているが、これは政治局会議で、同氏が長老連中から民主化運動の責任を問われ袋叩きに遭い、その結果心筋梗塞を発症し、一週間後に亡くなったことを考えると、同氏の逝去は自然死ではなく明らかな"憤死"である。

中国政府は引退した幹部に対し、現役時代のステイタス、たとえば最高指導層(7—9名)、政治局委員(20名弱)、閣僚級、次官級、局長級等に応じ、極めて手厚い優遇策をとっている。

局長級の下っ端幹部であれば、「官舎の支給と、複数の幹部共有による公用車利用」といった程度だが、 最高指導層(=党中央政治局常務委員)経験者は、警備員6名、医者1名、看護師1名、運転手2名、秘書2名、 コック2名、ざっとこれくらいが官舎に常駐すると云われている。長生きするのは当然だ。

10数名の随員が同居する官舎が、民草の住むマンションであるわけがなく、当然一戸建てで、少なくとも北京の"四合院"のような数百坪の豪邸が支給されるようだ(いまでも中国当局は、長老たちへの処遇について沈黙を守っているので、あくまで噂ではある)。噂の続きだが、江沢民氏は特に優遇されており、数年前に故郷の揚州を訪れたとき、高級車を6台も連ねた里帰りをしたほどだ。

筆者にも経験がある。20 年くらい前のこと、筆者が勤務していた銀行の相談役が中国のさる国有企業の招聘により、当時は"秘境"のような存在だった"峰三千、水八百"の張家界(湖南省)に招かれ、現地に一台しかないという特注のコースターのような超豪華バスで、深山幽谷を漫遊したことがある。

ところが翌日、スポンサーが申し訳なさそうな顔で、別の車(一般車)でご案内するという。理由を尋ねると、「数年前まで国家主席だった楊尚昆氏が、家族旅行で本日この秘境の地に到着するので、党の指令により、車が召し上げられた、何卒勘弁して欲しい」という話であった。

江沢民への書き込み禁止事件に戻るが、習政権から見れば江氏がネット上で揶揄されたり、批判されたりしても、「ざまぁみろ」というのが正直な本音である。

でもネット書き込みを閑却すると、議論が徐々にヒートアップし「中国は共産主義国家で、農民や労働者が主役のはずなのに優遇されるのは大幹部ばかり。奴ら現役中は腐敗で肥え太り、引退後も様々な優遇措置のお蔭で長生きしやがる。こんな国をつくるために、革命で多数の人民が血を流したのか」てな雲行きになり、祝融の災厄が政権にも飛び火しかねないので、慌てて言論封鎖を行ったのでは?(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成31年2月19日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、 三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学 同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職 著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

- (1) 株式の手数料等およびリスクについて
- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420%(税込み)、最低 3,240 円(税込み)(売却約定代金 が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額)の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8640%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。 外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および 為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、 本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320%(税込み)、最 低 2,700 円(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株 価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれ があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券 等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

